

補助金等成果報告書

補助金等名	別府市防火委員会補助金		
団体等名	別府市防火委員会		
事業費	¥437,883円	補助金額	¥108,000円

事業の内容	<p>幼年・少年消防クラブは、消防署の仕事を体験する研修の実施及び消防本部が主催する市民と消防のつどいにおいて防火リーフレットの配布を行った。</p> <p>また、クラブ員数増加を図るため、幼年消防クラブ員への入会呼び掛けを行った。</p> <p>女性防火クラブは、全国火災予防運動期間中の街頭啓発、市民と消防のつどい及び防火ミニバレーボール大会において住宅用火災警報器設置の啓発活動を行った。</p>
-------	---

成果目標	<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、各種イベント及び活動が制限された環境ではあるが、感染防止を考慮しながら可能な防火広報を行い、市民への防火意識の高揚を図る。また、住宅用火災警報器の設置で、火災を早期に感知し火災を未然に防いだ奏功事例も発生していることから、これまでの活動を継続し、設置率100%となるよう、設置推進活動を行っていく。</p> <p>更に、住宅用火災警報器の交換の目安が設置から10年であり、設置義務化から10年以上が経過していることから、定期的な点検の推進を合わせて啓発することで、住宅火災の減少を図る。</p> <p>幼年・少年消防クラブ員、女性防火クラブ員のクラブ員数の増加及びクラブ員に防火意識の高揚を図ることを目標とし、令和4年度も火災発生件数が減少するよう取り組む。</p>
------	---

事業効果	<p>幼年消防クラブは、クラブ員への入会呼び掛けにより新たな園児が入会、市民と消防のつどい及び出初式においてステージ上での火災予防啓発を行い、幼少期からの防火意識高揚が図れた。</p> <p>少年消防クラブは、消防署研修を行い消防の仕事を体験することで少年期からの防火意識高揚を図るとともに、研修の中で活用した防火リーフレットを市民と消防のつどいにおいてクラブ員が配布、市民への火災予防啓発も行えた。</p> <p>女性防火クラブは、全国火災予防運動週間での街頭啓発、市民と消防のつどい及び防火ミニバレーボール大会の中で、住宅用火災警報器の設置啓発を行い設置率向上に貢献、別府市の設置率は昨年比10%向上している。なお、住宅用火災警報器設置義務化から10年以上経過していることから定期的な点検を推進する啓発も併せて行っている。</p>
------	---

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。